

現ビス主催サマーキャンプ

今年度も、6月26日(月)から7月7日(金)までの2週間にわたり、マハサラカム大学(タイ)、釜慶大学(韓国)、カリフォルニア大学ベーカーズフィールド校(アメリカ)から、23名の学生を迎え、サマーキャンプを開催しました。いずれも現代ビジネス学部と協定を結んでいる大学です。初日のオリエンテーションでは、田端副学長、榎木現代ビジネス学部長の挨拶、学事・国際交流課の説明ののち、現代ビジネス学部の李教授と学生によるアイスブレイクが、本学の学生ボランティアも参加して行われました。楽しく和気藹々とした雰囲気でのよいスタートとなりました。

* * *

現ビスの学生とは、6月27日(水)「キャンパスライフ入門」(1年生)、「修学基礎Ⅱ」(2年生)の授業の中で全員が交流しました。どちらのクラスも、自己紹介の時間では大変盛り上がり、日ごろおとなしく見える現ビスの学生も、思わず「なかなかやるね!」と声をあげたくなるほどでした。1年生はキャンパス内のフィールドワーク、2年生は留学生が午後に予定しているキックマン工場見学のためのプレゼンテーションを行いました。

留学生の皆さんは、日本語、専門科目の授業のほか、茶道、書道、生け花といった文化体験、さらに、栄養マネジメント学科の先生、学生ボランティアのご協力をえて、和食のクッキングにも挑戦しました。

* * *

最終日には、ホストファミリー、ボランティア学生、関係教職員を交えて、フェアウェルパーティを開催しました。参加留学生の国ごとに、伝統舞踊や歌の演奏などを披露し、大いに盛り上がりました。最後に、現代ビジネス学部長より修了証書が一人ずつに手渡されました。



授業紹介①「ビジネス英語入門」「ビジネス英語Ⅱ」



現代ビジネス学科では、グローバル時代のビジネスで求められる英語によるコミュニケーション力を身につけるために、1年次から毎学期ビジネス英語の授業を開講しています。

7月6日(木)の授業では、加古川バプテスト教会アメリカ訪問団(Mission Trip to Japan)を迎えて交流しました。現ビズ2年生は、日本文化・伝統の紹介として、日本のお祭りに関するプレゼンテーションと、七夕について紙芝居を行いました。MTJの皆さんは、ビデオによりアメリカの文化や暮らしを紹介しました。その後、英会話レッスンや英語ゲーム、グループ別で英語でのディスカッションを通じて楽しく交流しました。サマーキャンプの留学生との交流に加え、日頃の学びを実践する貴重な機会となりました。

授業紹介②「ボランティア体験A」



「ボランティア体験A」受講生は、7月22日(土)にいなみ野水辺の里公園で開催される「そうめん流しとワイワイ夏まつり！」イベントに向けて、チームを組んで企画を練っています。7月13日(木)には、巨大迷路アトラクションを担当している学生2名が、その組み立てを協力して下さる外部団体の方と企画実現のための打ち合わせを行いました。続いて、7月15日(土)には、イベントで使用するそうめん流し用の竹を準備するために、学生3名がスタッフの方々の指導を受けながらボランティア活動を行いました。いなみ野水辺の里公園との協力事業である夏まつりイベントを成功させ、地域の多くの参加者に喜んでもらえるように、その準備を着実に進めています。



授業紹介③ 共通教育科目「経済学」

全学共通の共通教育科目「経済学」では、私たちが暮らしている市場経済のしくみについて学ぶとともに、情報通信技術革命が私たちの暮らしや経済に及ぼす影響、セット販売などのビジネス戦略など身近な問題について経済学の視点から考察します。6月30日の授業では、「市場の失敗」の1つである「情報の非対称性」にかかわる問題として、文部科学省消費者教育アドバイザーで、神戸市に勤める荒木武文氏を講師に迎えて、消費者問題について講義をしていただきました。「店で買い物をするとき、契約が成立するのはいつか？」などのクイズも交えて、消費者を守る制度の必要性に加え、「消費者力を磨く」ことの重要性について学びました。

